

Brown Bag Seminar

No. 050

オンライン
録画期間限定公開
(Zoom)
登録はこちら



2022 5.25 (水) 12:10 ~ 12:50

- 12:10-12:15 ◆ 演者紹介
- 12:15-12:40 ◆ プレゼン
- 12:40-12:50 ◆ 質疑応答

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_o9_4SuL4SW2_8WvbNTujyW

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

電気自動車の国際動向と カーボンニュートラルに向けた課題

司会 : Scott Valentine 教授 (Q-AOS 研究推進ディレクター)



吉田 謙太郎 教授

九州大学 エネルギー研究教育機構



本セミナーでは、国際機関や各国の統計資料、日本と中国における電気自動車に関するアンケート調査結果を踏まえて、各国の電気自動車市場と政策について俯瞰します。欧州を中心として急速なEVシフトが進展する中、ハイブリッド車のみならず、電気自動車や燃料電池車において先行していた日本市場は、欧州とは異なる動向を示しています。また、電気自動車の普及によってカーボンニュートラル社会に貢献するには、再生可能エネルギー導入など電源の脱炭素化が重要ですが、国によって状況は大きく異なります。コロナ禍やウクライナ侵攻、EUタクソノミー等により、エネルギー・資源をめぐる世界市場は、過去2年間で大きく変動しています。最新の国際情勢を踏まえつつ、主に日本と中国のEVシフトの現状と課題、展望について、参加者と意見交換する機会としたいと考えております。

北海道大学大学院農学研究科農業経済学専攻修士課程修了後、農林水産省に入省し、在職中に博士(農学)取得。農林水産省では、農業総合研究所主任研究官、大臣官房企画室行政官、ミズーリ大学食料農業政策研究所客員研究員、農林水産研究所主任研究官・政策研究調査官等として、行政部局と研究所を兼務しつつ農業環境政策の経済評価等の研究を行いました。筑波大学大学院システム情報工学研究科(都市計画専攻)、長崎大学環境科学部にて環境経済学や環境政策の教育・研究に従事した後、2018年5月に九州大学エネルギー研究教育機構教授として着任し、2022年4月からは同社会デザイン部門コーディネーターを務めるとともに、共創学部では環境・エネルギー学等を担当しています。

Key Words

- 電気自動車
- カーボンニュートラル
- 燃料電池車
- 脱炭素電源

